



社会福祉法人 愛知いのちの電話協会

愛知いのちの電話

<https://www.nagoya-inochi.jp>

40年を支えてきたもの

社会福祉法人愛知いのちの電話協会 理事長

榊 直 樹



愛知いのちの電話協会は、1985年7月の発足以来40年余を歩んできました。コロナ禍の一時期を除けば、365日・24時間電話を40年余受け続けてきました。受話器を昼夜握ってきて下さった相談員の方、寄付等でご貢献下さった企業や団体、賛助会員の皆さまに深く感謝申し上げます。

40周年となった昨年は、岐阜と三重の相談員にも加わっていただき、宿泊の合同研修・交流会を開きました。暮れにはチャリティーコンサートを催して、私たちの活動を幅広くPRすることも出来ました。

さて、AIが悩み事相談まで引き受ける時代に、73年前のロンドンから始められた「いのちの電話」が、なぜ今も続いているのでしょうか。自らを死に追いやるしかないのかと追い込まれた方が、電話で心の内を打ち明け、生き続けようと思ひ直されるとすれば、なぜなのでしょう。

ユダヤ人の精神科医ビクトール・フランクルは、ナチス・ドイツの強制収容所へ両親、妻と共に送られ、ガス室送りとの恐怖の日々を克明に綴った『夜と霧』の中で、次のように記しています。

1944年のクリスマスから1945年の新年の間にかつてない大量の死者がでたが、それは過酷な労働や食糧事情、伝染病のせいでは説明がつかない。多くの被収容者が「クリスマスには家に帰れる」という素朴な希望にすがりながら、果たされずに落胆と失望にうちひしがれ、抵抗力がおよぼす危険な作用が大量死となってあらわれた。「強制収容所の人間を

精神的に奮い立たせるには、まず未来に目的をもたせなければならなかった。」

この裏返しのように、「己が生命を大切に、ますますなりた。これは人間の目的だと思う」と、重症のらい病に罹って松葉杖にすがって歩きながらも、生きるよろこびを表わす39歳の青年との出会いが、名著『生きがいについて』を書き下ろす動機となった精神科医の神谷美恵子は、人にとっての支えを分析しています。

「生きがい感には幸福感の場合よりも一層はつきりと未来にむかう心の姿勢がある。現在の生活が暗たんとしたものを感じても、将来に明るい希望なり目標なりがあれば、現在に生きがいを感じられる。もう一つ幸福感とちがうところは、自我の中心にせまっている、という点である。」

いのちの電話のささやかな活動では、食べ物やokaneを差し上げるような物的援助は出来ません。まして幸せになって頂くことなど、叶えられようもありません。でも、40年余で延べ70万人近い方の声に、静かに耳を傾けてきました。相談する方自らが、「生きがい」には程遠いとしても、心の何処かに明日への灯をかすかでもともしてみようと思ひ直していただくこと、相談員はその心耳にひたすら思いを寄せて、受話器を握り続けてきたと思います。

人や生の声を介さず、人工知能や自動応答に向かいがちなAI・デジタル時代。今だからこそ、私たちの活動はより求められるのではないのでしょうか。

40th

愛知いのちの電話開局 40 周年記念イベント

チャリティーコンサート開催される



40 周年の挨拶をする榊理事長

2025 年 12 月 13 日(土)、金城学院大学アニー・ランドルフ記念講堂にて、開局 40 周年記念イベントの一環としてチャリティーコンサートを開催しました。

当日は、愛知県警察音楽隊、東邦学園 TOHO MARCHING BAND、金

城学院大学ウインドアンサンブル・リリー・ミューズの皆さんにご出演いただき、それぞれ魅力あふれる演奏を披露していただきました。後半には合同演奏も行われ、会場全体が一体となる、心に残る演奏会となりました。

初冬の肌寒い曇り空の中、開場 30 分ほど前から多くの方が入口に並ばれ、予定を 10 分早めて開場することとなりました。最終的には、予想を上回る 550 名を超える方々にご来場いただき、ダイナミックで躍動感あふれるステージに、皆さん大変満足された様子でした。



圧巻の 3 楽団合同演奏に会場が湧く



衣装もパフォーマンスも最高

今回のチャリティーコンサートのテーマである「市民の皆様へ、音楽でつながるひと時をご提供し、『いまここで、ともに生きる喜び・支えあう力』を感じていただく」ことが、まさに実現できた一日となりました。

また、当協会の活動を長年にわたり支えてくださっている個人の方への感謝状贈呈も行われました。ステージ上で語られた温かく力強いお言葉に、会場からは大きな拍手が送られ、多くの来場者が深い感動を覚えられた様子でした。

当日は、東海学園大学の学生を含む 45 名のボランティアスタッフの皆さんのご協力により、会場運営やロビーでの募金活動を円滑に行うことができました。その結果、298,449 円の募金をお寄せいただきました。心より感謝申し上げます。

今回は、コンサート終了後に QR コードを利用したアンケートも実施しました。ご来場前に愛知いのちの電話協会について「知らなかった」「名前を知っていた」と回答された方が約半数を占めていましたが、コンサートを通じて、9 割以上の方が、いのちの電話の活動への理解や関心が深まったとお答えくださいました。

今後もこのような取り組みを大切にしながら、多くの皆様に寄り添う活動を続けていきたいと考えております。

(A.O)



募金感謝

愛知いのちの電話開局 40 周年記念イベント

愛知・三重・岐阜いのちの電話相談員合同研修会

愛知いのちの電話 40 周年記念事業の第 1 弾として、2025 年 10 月 12 日（日）から 13 日（月・祝）にかけて 1 泊 2 日の宿泊研修が三重県立鈴鹿青少年センター（スズカト）で行われました。「相談員の親睦と交流」というテーマを掲げ、普段から結びつきの強い岐阜、三重の各センターにも参加のお声掛けをさせて頂きました。夏の猛暑が幾分落ちつき少し過ごしやすくなったこの時期に、愛知センターから 40 名、岐阜センターから 4 名、三重センターから 21 名の総勢 65 名の相談員が参加しました。研修初日はまず愛知いのちの電話協会の榊直樹理事長より「心を込めて接すること」というテーマで講演して頂きました。榊理事長の新聞記者時代に培った人との接し方、現在理事長をされておられる学校の生徒への接し方など、とてもためになるお話でした。又、榊理事長の幼少期のお話や書籍の紹介など、榊理事長のお人柄が伝わる内容も随所にあり、この講演を通じて榊理事長をととても身近に感じるこ

とができるようになりました。その後は、山本秀樹先生によるグループでの実習研修「流れ星」、夕食を挟んで、相談員同士の交流・討論会へと進み、21 時からの自由時間では多くの相談員が 3 階の 1 室に集まり、笑い声の絶えない相談員同士の心の交流が深夜まで続きました。2 日目は 4 つのプログラムの中から事前に選んだ 1 つを体験して頂くという内容で、①伊勢型紙の作成、②勾玉作り、③オリエンテーリング、④フリータイムの各グループに別れての活動となりました。伊勢型紙や勾玉は皆さん立派なものを作成し披露し合っていました。オリエンテーリングでは公園内を巡りながら設置された課題（クイズ）に答える、フリータイムは相談員同士自由におしゃべりや散策を楽しむというものでした。有意義でとても楽しい 2 日間でした。今回の研修を通じて相談員同士の絆が深まり、今後の電話相談活動の活力も養われたのであれば幸いに思います。（S・K）

40 周年記念募金（2025 年 12 月末現在）多くの寄付をありがとうございます。6 月末まで 40 周年記念募金を受付けております

青木恵子	青木久子	浅井俊雄	安達友子	粟田昌子	家城由香	井澤陽子	石園和枝
石田妙美	伊藤まり子	入谷由紀子	岩城正光	浦山任美	江崎好美	太田真知子	大塚早苗
大西 稔	大西光夫	大野智彦	大山 卓	岡崎 強	岡田淳子	岡田登志子	岡田若奈
岡部博男	岡町晃良	柿本大真	片桐清志	加藤明宏	加藤厚子	加藤倫子	兼田智彦
神尾 隆	川上直美	川上康博	神田輝夫	岸田賢次	岸田幸子	小坂橋秀行	小谷充子
児玉文子	後藤節子	小林 聖	小松 徹	近藤晶子	近藤世津子	榊 直樹	佐藤弘子
島津 通	白木和夫	鈴木郁雄	鈴木那夫美	住 和子	高田研至	高橋進行	高橋孝子
谷口 明	常富佳子	鶴見祥子	富田和美	豊田彬子	豊田絢子	中嶋善明	中野悦美
西美佐子	西村幸久	西脇陽子	野田正文	浜屋義幸	早川定子	坂東信吾	平尾 泉
平田たづ子	深田伸司	福地寿彦	藤田直美	北條献示	堀田義博	堀江和史	牧岡恒夫
松岡朱美	松永隆浩	松原真代	松本勝正	真野 久	水本厚生	宮澤雅人	柳生球子
柳澤幸輝	山本秀樹	吉岡満智子	渡邊 徹	渡邊めぐみ	チャリティーコンサート	ロビー募金	

匿名希望 7 名

愛知株式会社	一般財団法人愛知健康増進財団	愛知県弁護士会	イリヤ化学株式会社
NTPホールディングス株式会社	大須観音 宝生院	大矢建設株式会社	株式会社オティックス
金沢聖霊修道院	清水建設株式会社 名古屋支店	寂光院	杉浦内科クリニック
専念寺	瀧定名古屋株式会社	中部土木株式会社	株式会社東郷製作所
名古屋守山キリスト教会	株式会社ニッショー	日本産業カウンセラー協会 中部支部	
株式会社ヒメノ	福玉精穀倉庫株式会社	学校法人藤田学園	寶泉寺
株式会社ミサキ	株式会社みどり造園	宗教法人薬師寺	八事聖霊修道院
矢野建設株式会社	株式会社ラングローバル		

ご援助 ありがとう ございます

2025年6月1日から2025年12月31日までに下記の方々から温かいご支援をいただきました。一同、深く感謝いたしますと共にご報告を申し上げます。(順不同・敬称略) なお、上記期間内に何度もご支援くださった方もお名前は1回にさせていただきます。

法人賛助会員・寄付協力団体

株式会社IEC 愛知株式会社 天野エンザイム株式会社 イリヤ化学株式会社 鹿島建設株式会社 興禅寺 沢野商会株式会社 株式会社青雲クラウン 寶泉寺 中京車体工業株式会社 中部電力株式会社 株式会社デンソー 豊田通商株式会社 豊橋サマリア会 医療法人日進メンタルクリニック 株式会社ヒメノ ホーユー株式会社 社会福祉法人森の風舎森の風こども園 養念寺	NTTホールディングス株式会社 一般財団法人愛知健康増進財団 石塚硝子株式会社 大林組 名古屋支店 株式会社加藤建設 医療法人コジマ会 株式会社三晃社 聖霊奉侍布教修道女会 瀧定名古屋株式会社 中京総合警備保障株式会社 中部土木株式会社 株式会社東海理化 トヨタ不動産株式会社 公益社団法人名古屋中村法人会 日東建設株式会社 福玉精穀倉庫株式会社 株式会社三菱UFJ銀行経営企画部 株式会社ランググローバル	NTT西日本株式会社 アサダ株式会社 いちご会 大矢建設株式会社 川北電気工業株式会社 近喜商事株式会社 昭和興業株式会社 宗教法人専念寺 武田機工株式会社 日本基督教団中部教区愛知西地区教会婦人会連合 社会福祉法人東海テレビ福祉文化事業団 株式会社東郷製作所 学校法人名古屋YMCA 学園南山幼稚園 株式会社日建設計 野村證券株式会社 学校法人藤田学園 宗教法人薬師寺	株式会社アイシン あすてボランティア 株式会社一柳葬具總本店 オリエンタルビル株式会社 宗教法人建中寺 在日大韓基督教名古屋教会女性会 住友商事株式会社中部支部 大日コーポレーション株式会社 株式会社竹中工務店 豊田自動織機株式会社 株式会社ニッショー 万能工業株式会社 古庄電機産業株式会社 株式会社みどり造園 矢作建設工業株式会社
--	--	---	---

賛助会員・寄付者

青木恵子 井澤陽子 岩川富子 大山 卓 片桐清志 岸田賢次 近藤修司 佐藤弘子 杉山洋子 高橋紀代子 寺西佐雅代 野田義行 坂東信吾 松本勝正 深山 靖 柳澤幸輝 吉田篤司	浅井俊雄 石原容子 岩城正光 岡田和子 加藤明宏 岸田幸子 酒井裕子 佐野勝俊 鈴木 豊 高橋孝子 中野悦美 野村真徳 平尾 泉 水口早苗 武藤尋子 山内一慶 吉田典子	栗田昌子 石原頼子 岩田久夫 岡田文子 加藤綾子 小坂橋秀行 坂本清則 塩田 保 鈴木栄子 高橋雅英 中山信義 埜村雄治 藤居直哉 水本厚生 森 宣子 山口和彦 吉本恵子	飯田康之 井代佳明 大久保義美 岡部美代子 加藤法子 児島完二 坂本精志 篠田英樹 鈴木那夫美 高原一郎 梨本将代 長谷川秀子 堀江和史 溝上由里子 森岡 鑑 山田久美子 渡邊 徹	家城由香 伊藤秀樹 大河内幸二 小川義雄・マリ子 金岡明美 小谷充子 阪本俊生 下村徹嗣 鈴木ひろみ 高本 雅 西 美佐子 秦 智宏 本田聡子 宮川かおり 森田武彦 山中輝弓 渡辺真悟	家田祐子 伊藤まり子 太田真知子 神谷祐利子 小林 聖 酒匂真紀子 白石昭喜 諏訪昭子 田口博之 西山えつこ 浜屋義幸 牧野愛子 宮崎みさな 八木武志 山本秀樹 渡辺直人	池田裕二 今枝靖夫 大西信之 小栗夏江 川上直美 小松 徹 佐々木広子 杉田雅啓 高江洲昌富 田中丸富紀子 丹羽咲江 林 昌子 松浦 剛 宮島淳子 柳生球子 山本真澄 匿名希望 13名	井坂津矢子 杵山達雄 大橋精二 尾関めぐみ 菊池幸子 小山麻紀 佐藤かおり 杉山志乃 高尾章博 塚本陽子 野池寿重 原崎周平 松原真代 宮之原 弘 八谷 寛 義井裕子
--	--	---	--	--	--	--	--

協力団体 クリスマス募金・歳末募金

カトリック半田教会 挙母ルーテル幼稚園 名古屋聖マタイ教会 日本基督教団 熱田教会めぐみ会 日本基督教団 名古屋教会	カトリック日比野教会 ドミニコ会聖ヨゼフ修道院 名古屋柳城短期大学附属柳城幼稚園 日本基督教団 岡崎教会 日本聖公会 一宮聖光教会	カトリック瑞浪教会 名古屋キリスト教社会館 日本キリスト教会名古屋教会友愛会計 日本基督教団 豊山教会
--	---	--

個人 クリスマス募金・歳末募金

相川久幸 川上康博 本田聡子	青木久子 児玉文子 松浦 剛	石園和枝 子安崇夫 真野 久	伊藤まり子 下谷定司	太田泰子 高橋孝子	岡田文子 林 昌子	加藤明宏 北條貴敬	川上直美 堀田義博
----------------------	----------------------	----------------------	---------------	--------------	--------------	--------------	--------------